

令和7年度狛江市市民公益活動事業補助金 申請団体一覧

資料1

分類	団体名	事業名	事業内容	申請額(円)	
1	スタート	狛江バリアフリーマップの会	狛江バリアフリーマップ 車いす街歩き体験会	現存の市役所の使用するバリアフリーアプリと、先進市で使用されている先進的バリアフリーアプリの両方を使用し施設を訪問。現地確認と記録を行い、アプリの内容を検証。アプリのアップデート資料として、報告書を市役所へ提出。車いすユーザーも市民も使いやすいアプリへ更新し、市民へアプリの存在を周知する。	50,000
2	チャレンジ	狛江市聴覚障害者協会	狛江市聴覚障害者協会主催 東京2025デフリンピックに向けた「狛江市内手話理解促進講演会と商工会全加盟店舗での手話接客に向けた研修会」	・2025東京デフリンピックに向け、デフアスリートによるデフリンピックの歴史や講師による簡単な手話講演会を開催する。 ・商工会会員のお店などに「ありがとう」の手話のついた東京デフリンピック応援ポスターの掲出、また、お店で「ありがとう」等の簡単な手話での対応、翻訳アプリの紹介をしていただく。	76,000
3	チャレンジ	ハルのキに。	多世代型交流子育てサポート事業	【いばしょ ハルのキに。】 ①子育ての不安と負担を軽減する子育てサポート ・おやこのひろば・親子で楽しめる遊びの提供・親がひと息できる休息の場 ②子どもと若者の居場所 ・放課後安心して過ごせる第三の場所 ③子どもから大人まで幅広い市民に対する交流の場を開設 ・自分のやりたいことの実現・子どもとの触れ合いの場 【こそだて ハルのキに。】 ・専門士を講師(子育てサポーター)として招き、子どもの年齢や子育てにおける悩みや不安ごとに応じた内容の連続講座を「お話し会」と称して開催	200,000
4	チャレンジ	わたしたちはここに いるよプロジェクト	障がいのある方が自身の表現を通じて社会に 理解を深めてもらうアート展 「ミチはここから展Vol.3」	・10/23～10/26開催予定「ミチはここから展Vol.3」では10団体と個人参加7人の作品を中心に約100点の作品を展示 ・障がい者支援事業所への支援の一環として事業所で製作された物販の継続 ・「ミチはここから展」では「顔彩」アーティストの指導の元、「顔彩アートワークショップ」を実施。来場者が飛び入りで参加し、一枚の大きな和紙に日本画の画材である「顔彩」を使用して即興的に絵を描くワークショップとして実施。「顔彩アートワークショップ」では、あわせて「障がい者アート」の紹介も行つ。	160,000
5	チャレンジ	comaecolor	タマガワ図書部 BOOK and BENCH	関心を持ってもらった人が気軽に参加できるように選書を募り、1ヶ月半のサイクルで選書企画を継続する。 (1)選書テーマをタマガワ図書部インスタグラム/note、啓文堂書店で告知 (2)本の紹介文とともに、エントリーしてもらう (3)選書された本の紹介カードを製作 (4)仕入れ可能な本は啓文堂書店で運動販売	200,000
6	チャレンジ	ぼかぼかマルシェ 実行委員会	ぼかぼかマルシェ	2025年の10月末に開催予定のマルシェに計画的に取り組む。開催までに4回程度の会議・交流会を重ね、新しい人材の発掘、チャレンジを行いやすい体制作りを実行委員会で整える。	60,000
7	チャレンジ	彩染工房	古布のリサイクル事業(ごみ減量を目指して)	・市内小学校の放課後子ども教室(KoKoA)で古布を使った裂き織り教室の開催 ・夏休みに子ども裂き織り教室を開催(ピン・缶リサイクルセンター内) ・古布を使った小物作り教室の開催(ピン・缶リサイクルセンター内) ・市民まつりに出店し、小物販売と同時にごみ減量についてPR	80,000
8	チャレンジ	狛江市文化講演 推進会	第3回狛江市文化講演会 (狛江市の魅力発信事業の一つとして)	令和7年7月5日(土) 第3回 狛江市文化講演会をエコルマホールにて開催。 講師は、五神真氏(理化学研究所理事長、元東京大学総長)。 講演内容については、中学生高校生向けに世界の最先端の科学と教育についてご自身の経験を通して語っていただく。	200,000
9	チャレンジ	PLATHOME労働者 協同組合	地域のつながりを育む コミュニティガーデンプロジェクト	雨庭ワークショップ ・専門家を招聘し、雨庭について学びながら、実施場所に導入する。 ※専門家候補: Shutoca(東野川住民)、世田谷トラストの専門家 ・参加者は公募で募集(参加人数は専門家と相談して決定) ・参加料: 無料 コミュニティガーデンの整備 ・住民参加型でアイデアを出し合うワークショップの開催 ・設計に基づいた住民主体の作業イベントの実施 ・重機を使う必要がある作業や専門的な作業は委託し、本補助金で賄う。 ・コミュニティガーデンに必要なプランターや植物、備品を本補助金で整備する。	200,000